

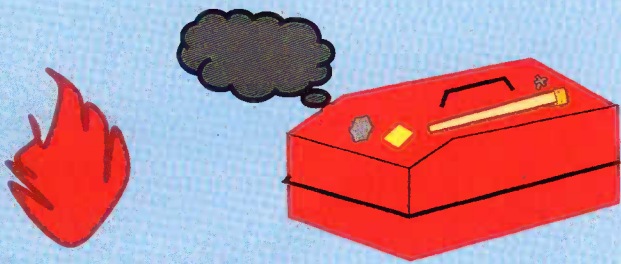
行楽期を  
前に!

# 正しく使おう! ガソリン携行缶



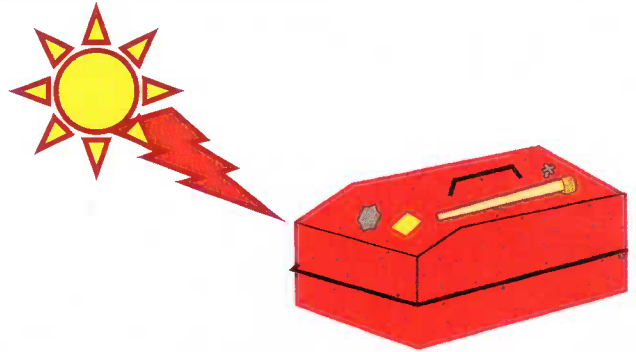
## ガソリンは

気温が-40℃でも蒸発し、回りに火があると爆発的に引火するため、使用方法などを間違えると大変危険な物質です。



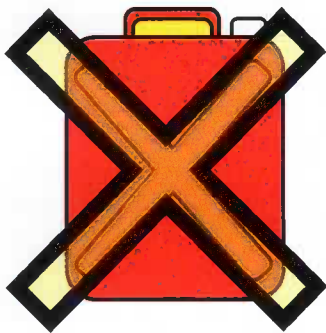
## ①保管は

直射日光や高温になる場所には保管しないでください。



## ②容器は

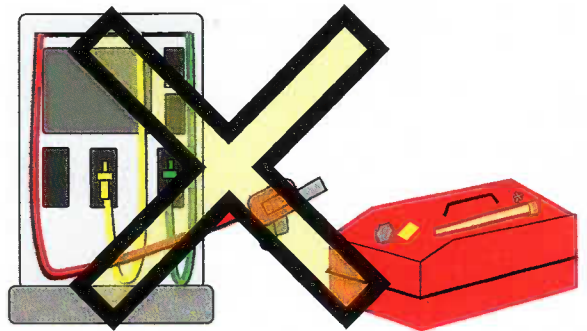
ガソリンは専用容器に入れてください。KHKやUNマークのラベルが貼付されている金属缶を選びましょう!



灯油用ポリエチレン缶には入れることはできません!

## ③購入は

セルフスタンドでは利用者自らがガソリンを容器にいれることはできません。



従業員に入れてもらいましょう!

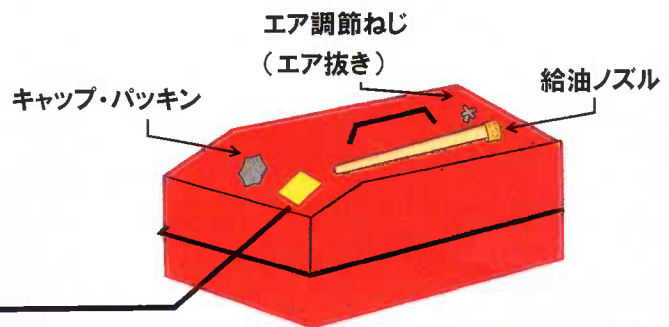
## ④使用時は

取扱説明書をよく読み適正な取扱いをしてください。

また、フタを開ける際は噴出に注意してください。

### !噴出注意!

- ★周囲の安全を確認
- ★フタを開ける前に
  - ①エンジン停止
  - ②エア抜きをする
- ★高温の場所禁止



問合せ先

昭島消防署 予防課 危険物係

電話 042-545-0119